

防災に必要な4つのアクション

災害から命を守るためには、事前の備えが大切です。被災してから後悔するのではなく、今できることを一つずつ進めておく必要があります。今回は、災害に備えて日頃から取り組みたい「4つのアクション」を紹介します。

Action 01 備

日頃から備える

日頃から備えておきたいことの1つに「非常用品の備蓄」や「家具の固定や住宅の安全対策」などがあります。非常用品は、飲食物の賞味期限が切れていないことや電池切れを定期的に確認しましょう。家具の固定では、ガラスの飛散を防ぐ対策など安全を確保しましょう。

非常用品が揃っているか確認してみよう

- 飲料水
- 救急セット
- 食料品
- 雨具、軍手
- カセットコンロ
- 衛生用品（マスクなど）
- 懐中電灯、電池
- 防寒用品（カイロなど）



Action 02 確

気象情報を確認する

テレビやラジオ、スマートフォンなどで、「いつ・どこで・どのくらい危険なのか」を確認しましょう。また、SNS などでは、誤った情報が広がる場合もあるため、市の公式LINEやメール配信サービスなどの正しい情報を確認することも大切です。

気象情報で確認すべき事項

- 台風の進路や接近時間
- 河川の水位情報
- 雨や風が強くなる時間帯
- 避難情報や避難所の開設状況



Action 03 助

地域で助け合う

災害時に、地域で助け合う（共助）ためには、地域で行われている避難訓練などに参加して、普段から顔の見える関係を作ることが大切です。自力で避難できない人がどこに住んでいるかや、地域でそれぞれの避難の方法などを確認しましょう。



▲令和7年11月16日に市内全域で開催された防災訓練



▲令和6年9月29日に開催された永田町区の防災訓練

Action 04 知

危険な場所を知る

危険な場所を知るためには、小林地総合防災マップが一番有効的です。マップには、避難所の場所や土砂災害・急傾斜地の警戒区域が表示された地図、防災対策への対策やチェック項目なども掲載しています。ぜひ一度、自分の住んでいる地域を確認してみましょう。



▼防災マップは、危機管理課で配布しているほか、市ホームページ（②二次元コード）からも確認できます



災害から命を守るために

毎年のように、全国各地で発生する大雨や台風、地震。これまで安全だと思われていた地域でも、災害の危険性は高まっています。災害は、ある日突然、日常を脅かします。だからこそ必要なのは「もしもの時」に慌てるのではなく、日頃から備えておくことです。小林地でも、令和5年の線状降水帯の発生や、令和7年の霧島連山新燃岳の噴火など、幾度となく自然災害に直面してきました。その度に、防災への意識は高まりますが、時間の経過とともに危機感は薄れてしまいがちです。しかし、災害の危険がなくなるわけではありません。近年は、短時間で激しい雨が降るケースが増えてい

ます。特に、これから迎える梅雨時期は、集中豪雨や土砂災害、河川氾濫などが発生しやすい季節。今一度、自分や家族、地域を守るために、できる備えを見直す必要があります。避難場所や避難経路の確認、非常食や飲料水の備蓄、家族との連絡方法の共有など、何気ない準備の一つ一つが、災害時の安心につながります。また、地域で声を掛け合い、支え合うことも、防災には欠かせない大切な力です。今回の特集では、新しく見直された防災気象情報についても紹介しています。正しい情報を知り、いつ避難するべきか判断できる力を身に付け、日頃から災害に備えましょう。

●問II危機管理課

Tel 23-1175

▼真方川の越水でアスファルトがはがれた隣接する道路



▼線状降水帯の発生で濁流となって水かさが大きくなった本庄川





災害時の情報は、
LINE・メール・ラジオから

市公式 LINE

市の公式 LINE でも防災・犯罪情報を受信できます。右の二次元コードを読み取って、友達登録し、画下に表示される基本メニューの受信設定を選択。欲しい情報から「防災情報」を選択して完了です。



小林市メール配信サービス

大雨や台風の時期に防災情報を素早く手に入れることができます。右の二次元コードを読み取って空メールを送信し、届いたメールの URL をクリック。利用規約を確認後、配信を希望する情報などを選択して登録完了です。



防災ラジオ

各世帯に1台ずつ、無償で配布（貸与）しています。配布を希望する人は、危機管理課窓口にお越しください。停電の時には、電池で動きますので、事前に電池の状態を確認してください。



単3電池が3本必要！

電池を入れたままにしておくと、液だれで故障につながります。定期的な交換しましょう。



私たちはどの時にどんな行動を取ればいいのか？

防災情報の中でも、特に注意が必要なのが「警戒レベル3」と「警戒レベル4」です。災害は、突然発生することもあるため、情報を正しく理解し、早めの避難行動につなげましょう。

レベル3 警報 が発表されたら

避難に時間がかかる**高齢者などは危険な場所から避難**してください。また、高齢者以外の人にも必要に応じて避難の準備や自主避難するようにしてください。



レベル4 危険警報 が発表されたら

危険な場所から全員避難してください。台風などで暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了してください。



河川氾濫の危険度の伝え方が変わります

今回の見直しで「洪水警報」「洪水注意報」が廃止され、河川の区分に応じた新しい名称に変更されます。小林市では、河川の氾濫に関する情報も、大雨時に発表される防災情報に含まれます。

常に最新の情報を確認することが大切

天候は急激に変化することがあります。場合によっては、警戒レベルが一気に上昇する可能性もあります。だからこそ、早めの避難を心がけてください。

また、災害の危険度は場所によって異なります。住んでいる場所によっては、危険性があるのか、あらかじめ把握しておくことも大切です。そのため、気象庁が発表する情報だけでなく、自治体が発表する情報も確認しておきましょう。

近年は、気候の状況がこれまでとは変化しており、統計的にも短時間で大雨が降る回数が増加しています。これまでの経験に頼るのではなく、常に最新の情報を確認しながら備えることが大切です。

避難するタイミングはレベルで判断！

防災気象情報が新しくなりました

これまでの防災気象情報は、災害ごとに警戒レベルや名称が異なり、直感的にいつ避難すればいいのか、分かりづらい部分がありました。そこで気象庁では、警戒レベルと名称を統一し、災害の危険度が直感的に分かりやすくなるよう見直しました。今回、新しくなった防災気象情報を確認し、災害時に迅速な避難ができるように日頃から備えておきましょう。

▼詳細は、気象庁のホームページをご確認ください



5段階のレベルと取るべき行動を覚えましょう

小林市で発表されるのはこの部分！

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮	取るべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮危険警報	命の危険、直ちに安全確保！
警戒レベル4までに必ず避難！					
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	高齢者などは危険な場所から避難
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や経路など）
警戒レベル1		早期注意情報			

新しい防災気象情報でより迅速な避難を

私たちは、常に自然の変化を観測し、災害が発生するおそれがないかを判断しています。そして、その危険性を皆さんに伝えるために発表しているのが防災気象情報になります。

これまでの防災気象情報は、同じ避難に関する情報でも災害ごとに名称が異なり、どの情報ほどの程度危険なのか直感的に分かりづらい面がありました。そこで、情報の名称を統一し「警戒レベル」で危険度を分かりやすく示すように見直しました。これにより、「レベル4なら全員避難」といったように、住民が取るべき行動を判断しやすくなっています。今回の見直しで、迅速な避難につながることを期待しています。



宮崎地方気象台 台長
ふかはた じゅんいち
深畑 純一 さん